

式 辞

ようやく秋の訪れが感じられるようになった今日の佳き日に、愛媛県立北条清新高等学校通信制課程の前期卒業証書授与式を挙行できますことは、私たち教職員一同、この上ない喜びです。

卒業証書を授与された卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

皆さんは、それぞれにいろいろな思いを抱きながら、今日の日を迎えられたことと思います。うれしかったこと、思うようにいかなかったこと、迷ったこと、立ち止まったこと。それぞれに違った歩みがあったことでしょう。通信制での学びは、自分自身と向き合いながら、自分のペースで一步ずつ進んでいく学びです。レポートに取り組み、スクーリングに参加し、単位を一つずつ積み重ねていく。その一つ一つの積み重ねの先に、今日という日があります。

人生は、よく山登りに例えられます。

同じ山の頂上を目指していても、歩く道は一人一人違います。まっすぐ急な坂を登る人もいれば、緩やかな道をゆっくりと遠回りする人もいます。途中で休む人もいれば、いったん引き返して、別の道を探す人もいます。

大切なのは、他の人と同じ道を歩くことではありません。「山に登るルートは、人の数だけあります。」自分に合った道を見つけ、自分の歩幅で、一步ずつ前に進んでいくことです。

皆さんがこれまで歩いてきた道も、決して平坦なものではなかったと思います。しかし、その道を歩いてきたからこそ、出会えた人がいた。気付けたことがあった。身に付けた力があった。そして、今日の皆さんがあります。

北条清新高校は、今年度、新たな学校としてスタートしました。通信制課程も、これまで長く多くの生徒の学びを支えてきた歴史を受け継ぎながら、新たな歩みを始めています。

その新たな歩みの中で、今日皆さんを卒業生として送り出せることを、私は大変嬉しく思います。

そして、皆さんにぜひ覚えておいてほしいことがあります。皆さんは、決して一人でここまで来たわけではありません。皆さんのことを理解し、励ましてくれた友人や仲間がいます。温かく声を掛け、支えてくださった先生方がいます。そして、皆さんの歩みを見守り続けてくださった御家族や周りの方々がいます。通信制課程には、これまで大切に受け継がれてきた言葉があります。

「ひとりじゃないんだ、がんばろう。」

今日、卒業する皆さんも、この言葉を忘れないでほしいと思います。これから先、また道に迷うことがあるかもしれません。思うようにいかないこともあるでしょう。そんなときには、今日までの自分の歩み、この言葉を思い出してください。

遠回りした道も、立ち止まった時間も、決して無駄ではありませでした。皆さんが歩いてきた道のすべてが、これから先の皆さんを支える力になるはずです。

今日、皆さんが手にした卒業証書は、これまでの努力の証であると同時に、これから新しい道へ進むための一つの区切りでもあります。皆さん一人一人が、これからも自分らしい道を歩み続けることを、私たち教職員一同心から応援しています。

保護者の皆様、本日のお子様の御卒業、誠におめでとうございます。これまで、お子様を支えてこられた御家族の皆様に、改めて敬意を表しますとともに、心からお喜びを申し上げます。

卒業生の皆さん。改めて御卒業、本当におめでとうございます。

皆さんのこれからの歩みが、実り多きものとなりますこと、そして、これから出会う人とのつながりの中で、さらに成長されることを心から願って、式辞といたします。

令和8年9月28日

愛媛県立北条清新高等学校長 菊池 正敏